

祝 辞

ご紹介に預かりました、株式会社サンライズ・
エー・イー 代表取締役社長を務めております、
第十八回生の瀧本一男と申します。

本日は、このような喜ばしい場にお招きいただき
まして、厚くお礼申し上げます。また、人生の先
輩方も多くお見えになっっている中、皆さまを差し
置いてご挨拶するのも僭越ですが、八戸高専卒業
生の一人として、一言お祝いを申し上げたく、ご
指名をお受けいたしました。本日の大役をおおせ
つかりましたが、なにぶんにもこのような大役は

初めてでございますので、不行き届きの点はどうぞご容赦くださいますようお願い申し上げます。

高専制度創立六十周年ならびに八戸高専創立六十周年を迎えられ、誠におめでとうございませす。この晴れやかな節目を迎えられましたことは

ひとえに国立高専機構をはじめ、教職員皆さま方のたゆまぬご努力の成果とお慶び申し上げます。

高度経済成長期の時代に高専が誕生して六十年、ちようど還暦を迎え、卒業生の一人として喜びに堪えません。私自身も卒業して早四十年となりますが、月日が流れる早さに驚いております。

八戸高専は、これまで本科の卒業生だけでも7,900名を超える卒業生を輩出しており、起業された方、受勲された方など、県内外において広く活躍されている記事を目にすることも多く、大変誇らしく思っております。

聞くところによりますと、現在は我々が在籍したころと異なり、約半数が高専の専攻科や、旧帝大を含む国公立大学に進まれ、県内有数の進学校となっているとのこと、また、本科卒業生につい

ても求人倍率が五十倍を超えたとお聞きし、高専生の実力が依然、高く評価されていることにつきまして、校長はじめ教職員皆さまのご指導の賜物であり、同窓生を代表して謝意を申し上げます。

今回、植樹した木とともに、これからも100年、200年と八戸高専が光り輝くこと、ご臨席の皆さまのご健勝を記念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。
本日は誠におめでとうございます。

令和五年十月二十八日

八戸高専同窓会副会長

株式会社サンライズ・エー・イー

代表取締役社長 瀧本 一男